新宿区、中野区、杉並区における多文化共生の取り組みに関する調査報告

明治大学 山脇ゼミ

2025年7月2日

目次

01 調査目的と調査方法

02 調査項目

03 調査結果

04 まとめ

05 中野区への提言

調査目的と調査方法

📌 調査目的：

中野区と近隣区の多文化共生の取り組みを比較することで、中野区の多文化共生施策の目指すべき方向性を探る

📌 調査方法：

インターネットや電話等を用いて各区の取り組みを調査。

（調査期間は2025年5月～6月）

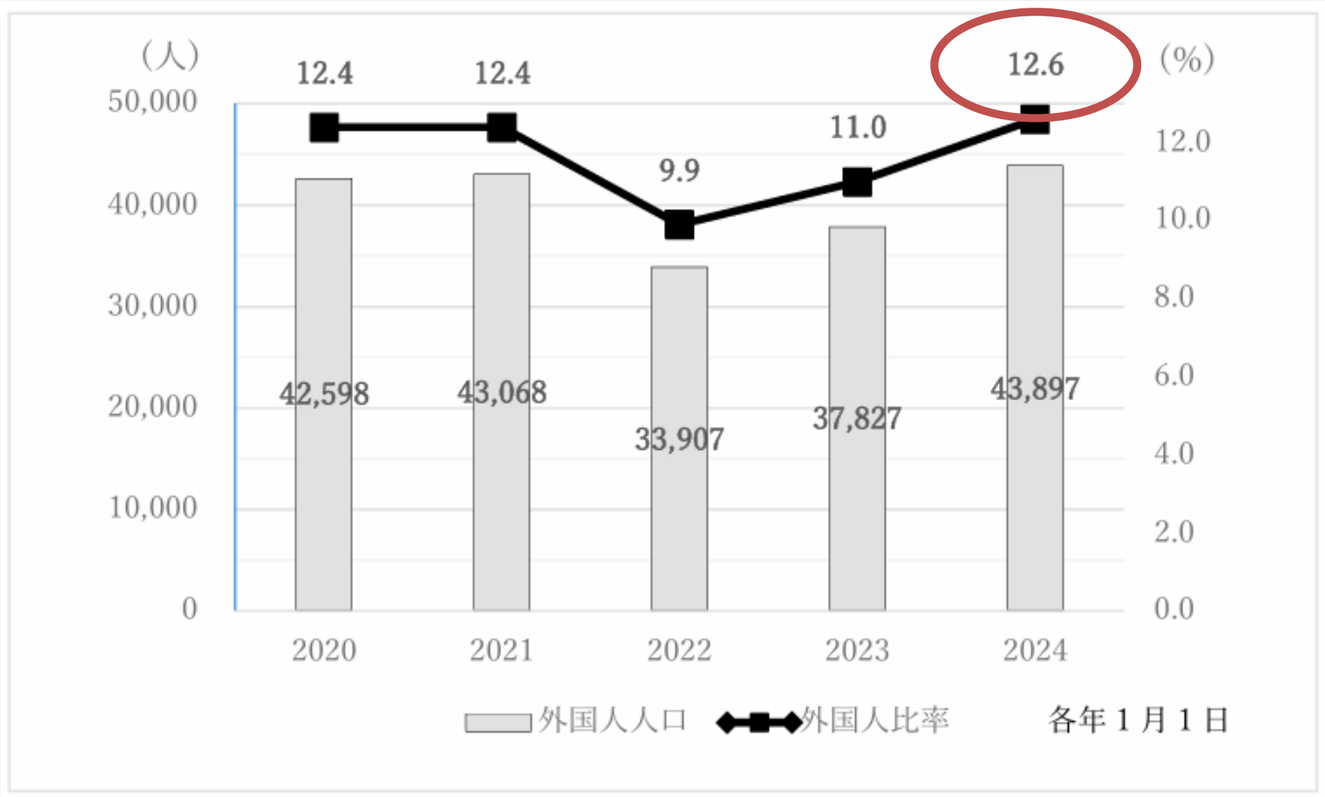
調査項目

1. 外国人住民に関する統計
2. 多文化共生基本方針
3. 外国人相談
4. 日本語教育
5. その他の取り組み

1. 外国人統計

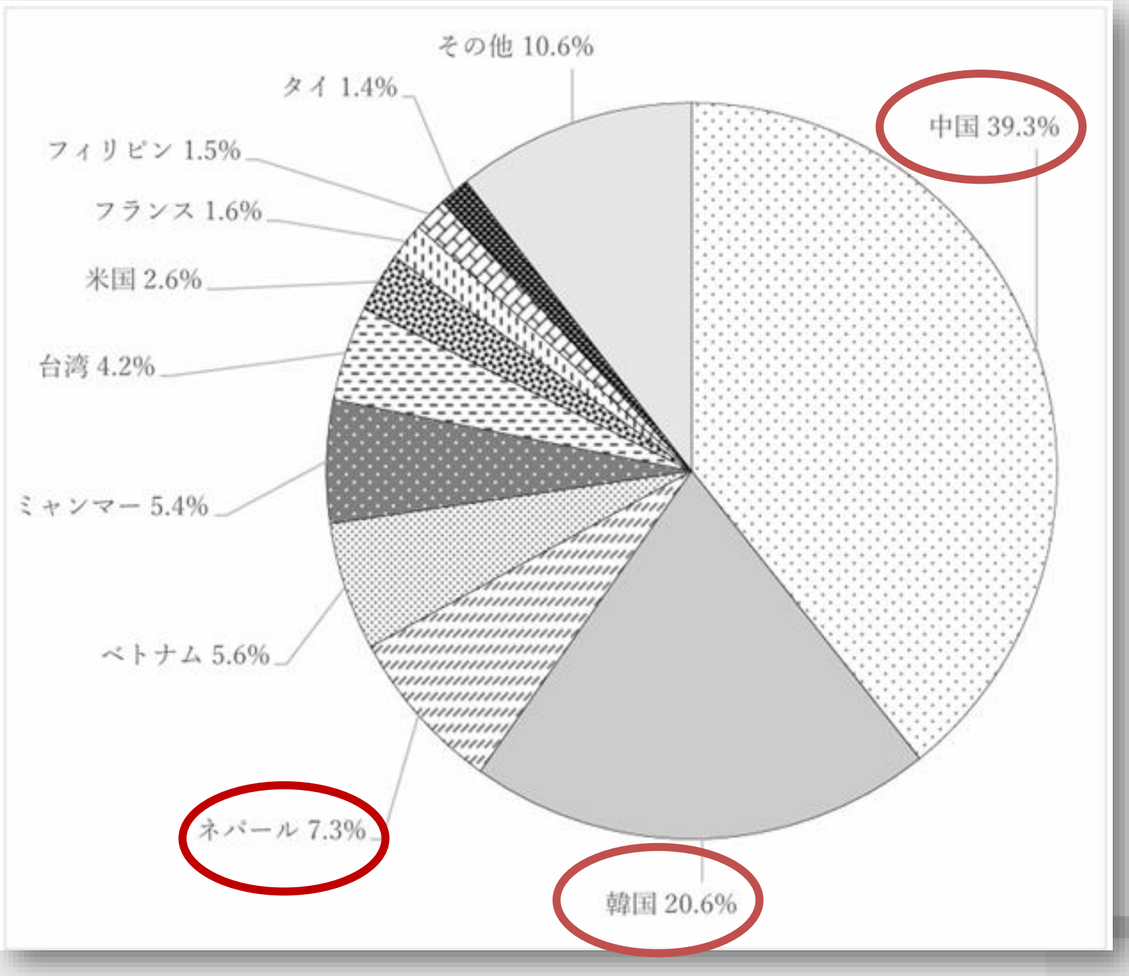
外国人人口の推移

新宿区



出典：新宿区多文化共生まちづくり会議(令和6年)「新宿区多文化共生まちづくり会議 審議結果報告書」

国籍別割合



出典：新宿区多文化共生まちづくり会議(令和6年)「新宿区多文化共生まちづくり会議 審議結果報告書」

新宿区

在留資格別割合

新宿区

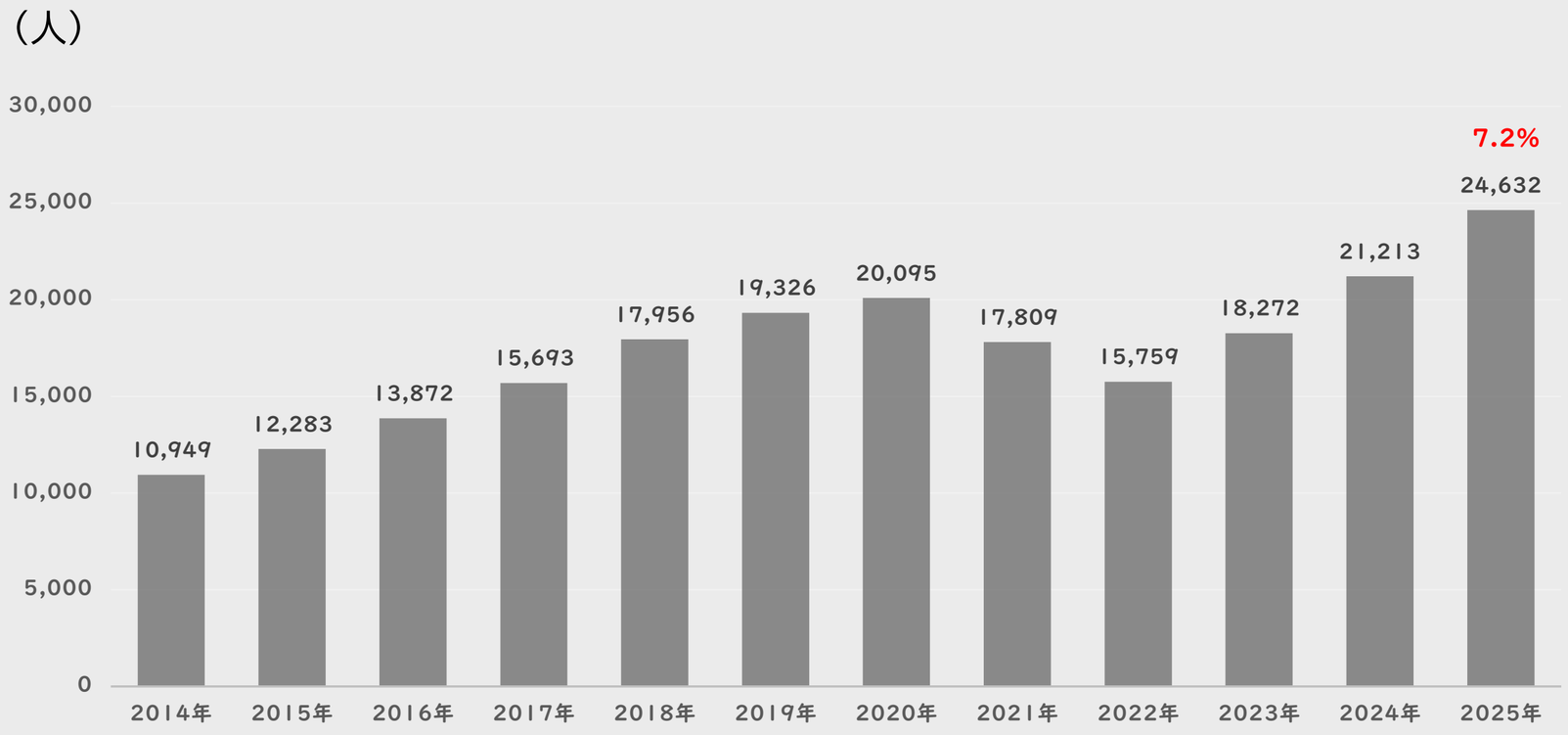
	2015 年 （住民基本台帳より）	2023 年 （住民基本台帳より）	2024 年 （住民基本台帳より）
経営・管理	935	1,085	1,181
技術・人文知識・国際業務	4,114	5,990	6,631
企業内転勤	421	213	238
興行	17	19	19
技能	1,215	1,056	1,078
特定技能	-	171	312
技能実習	-	96	111
留学	12,458	12,440	14,350
家族滞在	3,979	3,971	4,331
永住者	6,260	8,240	8,386
特別永住者	1,488	1,252	1,212
日本人の配偶者等	1,387	1,035	1,038
定住者	1,580	1,476	1,517
その他の在留資格	2,162	3,235	3,473
合計	360,616	40,279	43,897

1位　留学
2位　永住者
3位　技人国

出典：新宿区 令和5年度新宿区多文化共生実態調査

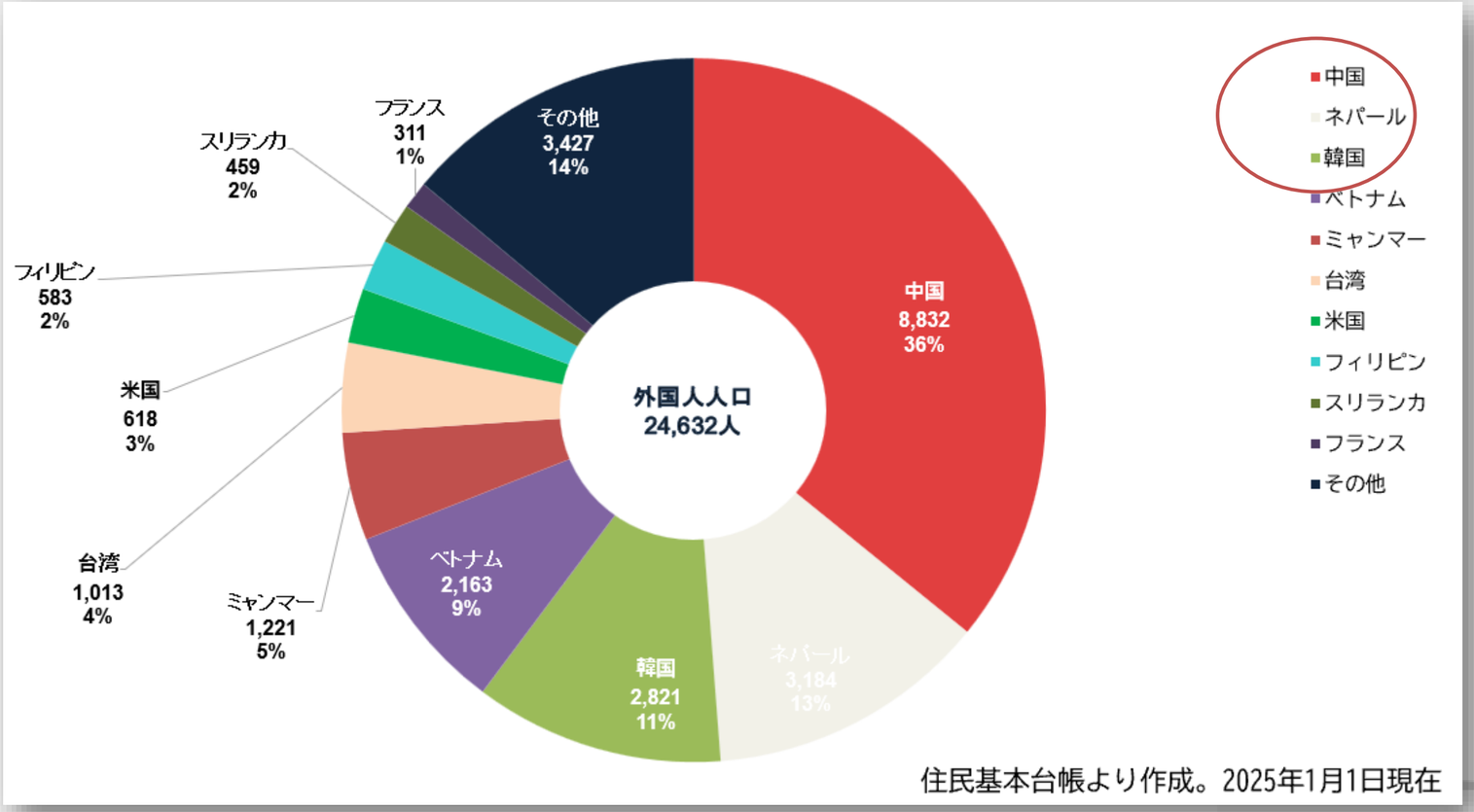
中野区

外国人人口の推移



住民基本台帳より作成。各年1月1日現在

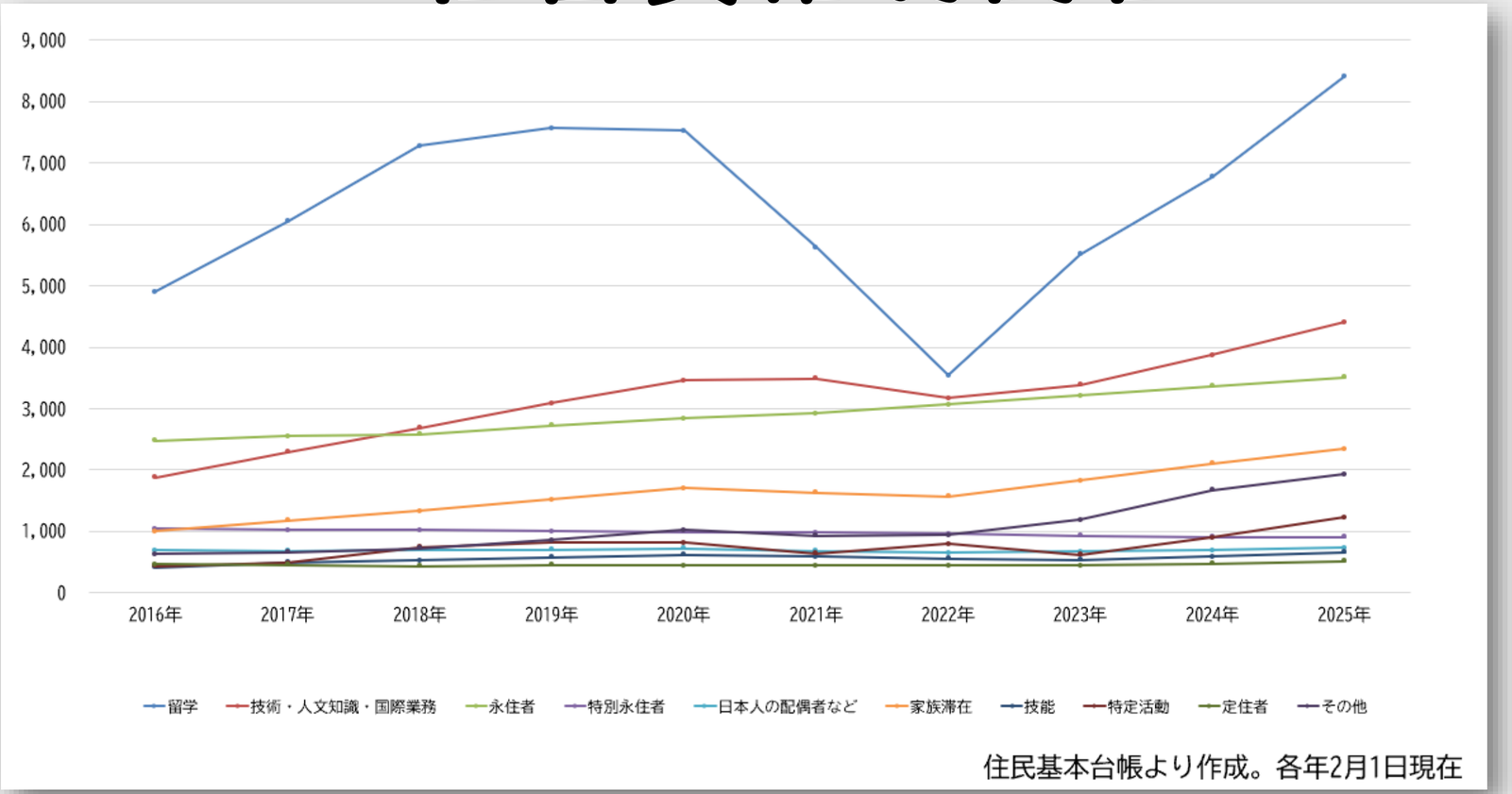
国籍別割合


外国人人口
24,632人
中国
8,832
36%
ネパール
3,184
13%
韓国
2,821
11%
ベトナム
2,163
9%
ミャンマー
1,221
5%
台湾
1,013
4%
米国
618
3%
フィリピン
583
2%
スリランカ
459
2%
フランス
311
1%
その他
3,427
14%
中国
ネパール
韓国
ベトナム
ミャンマー
台湾
米国
フィリピン
スリランカ
フランス
その他
住民基本台帳より作成。2025年1月1日現在

中野区

中野区

在留資格別割合

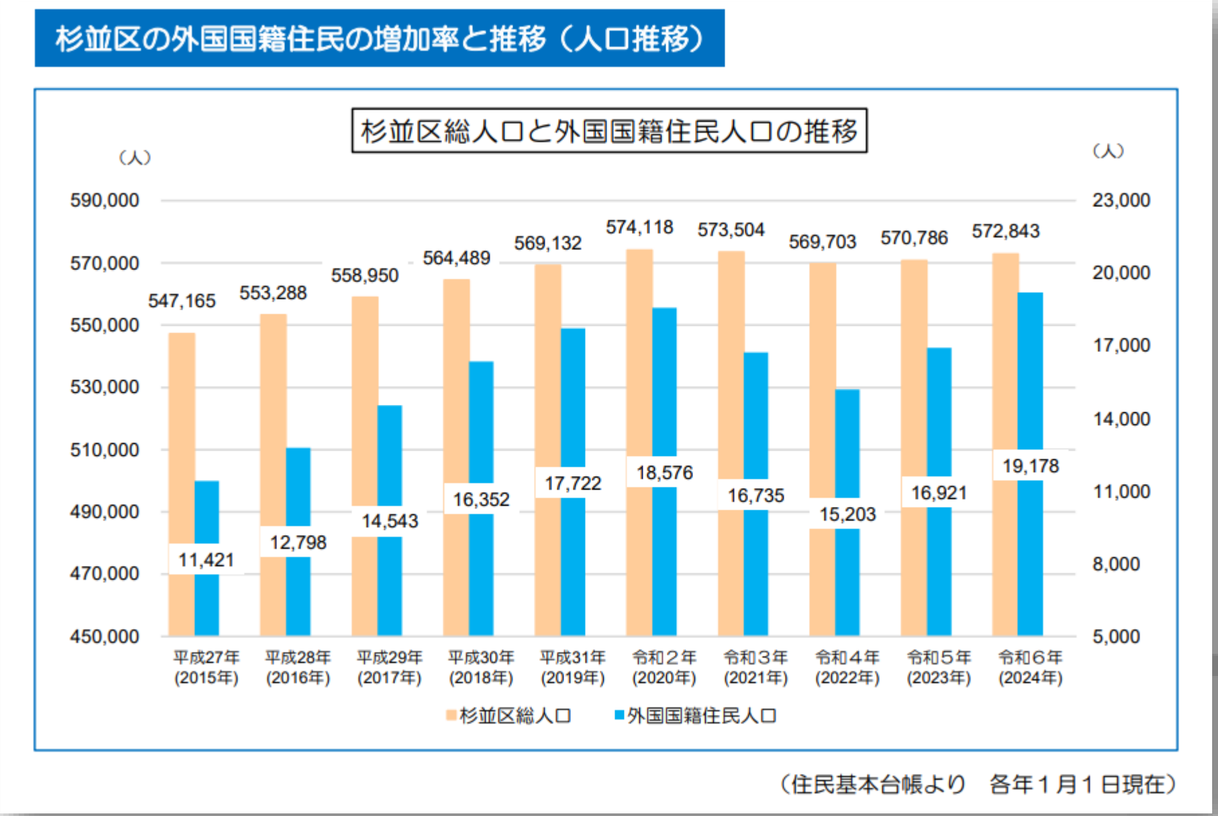


1位　留学
2位　技術・人文知識・国際業務
3位　永住者

外国人人口の推移

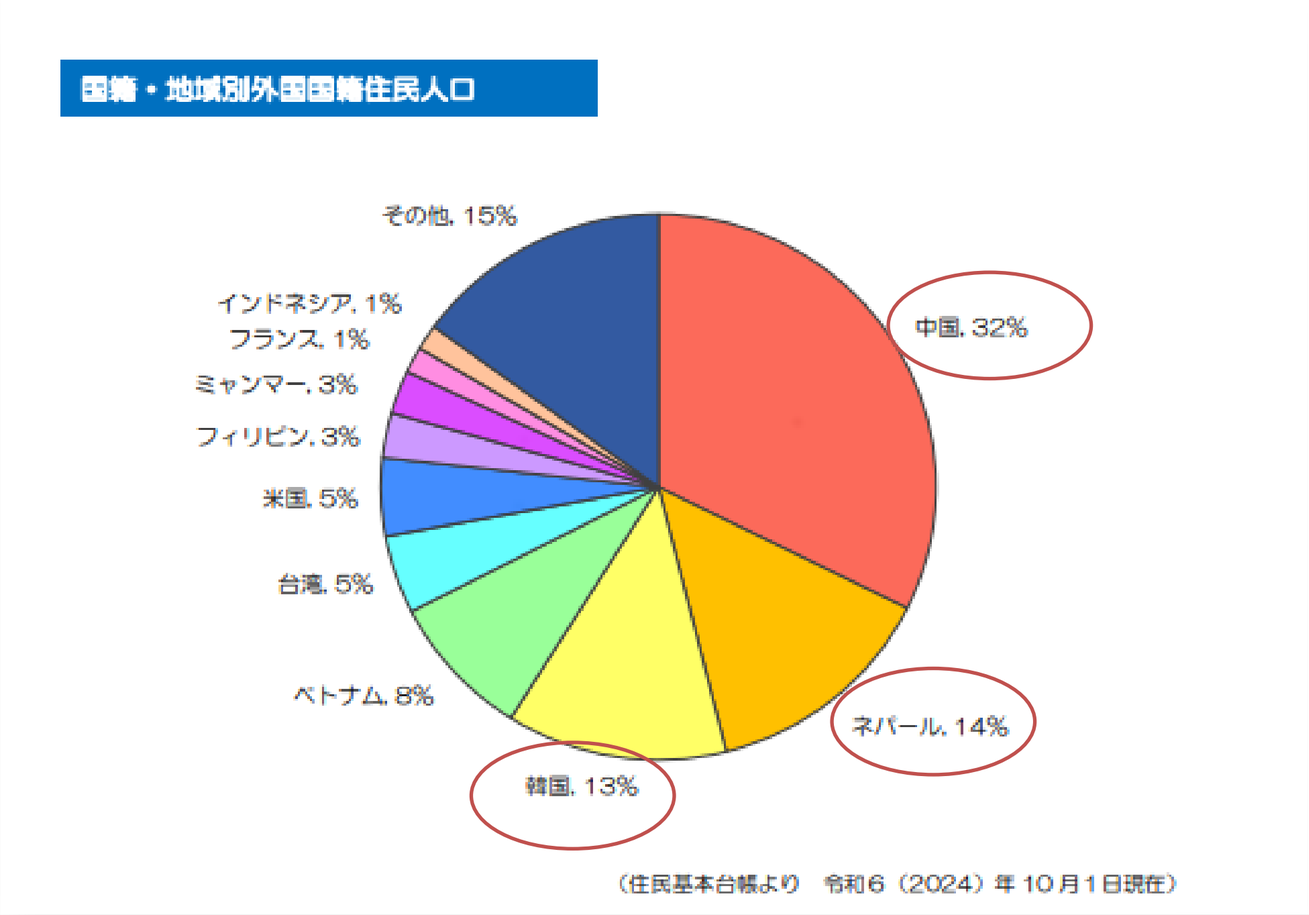
在留外国人人口（22, 827）　令和7年4月
総人口（596,033）に対して3.8%

杉並区



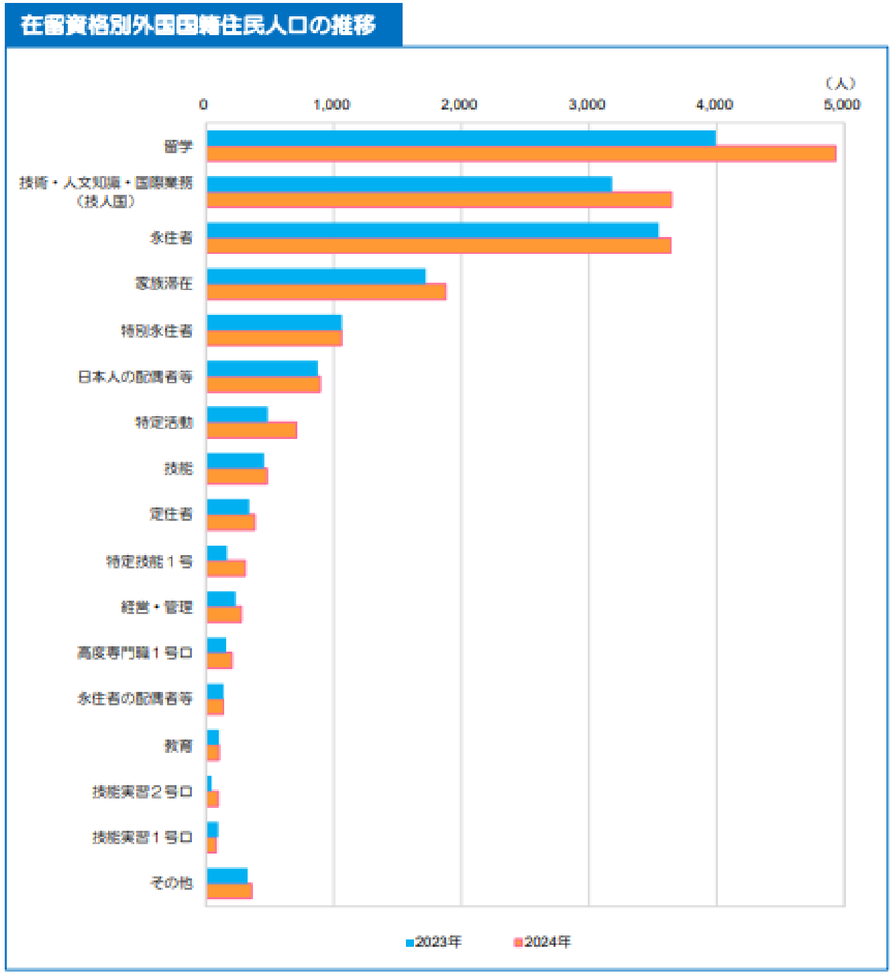
国籍別割合

杉並区


国籍・地域別外国国籍住民人口
その他, 15%
インドネシア, 1%
フランス, 1%
ミャンマー, 3%
フィリピン, 3%
米国, 5%
台湾, 5%
ベトナム, 8%
韓国, 13%
ネパール, 14%
中国, 32%
（住民基本台帳より　令和6（2024）年10月1日現在）

杉並区

在留資格別割合



（住民基本台帳より　各年１月１日現在）

1位　留学

2位　技術・人文知識・国際業務

3位　永住者

多文化共生基本方針

新宿区

（多文化共生基本方針はない）

自治基本条例（2010年）

前文

「私たちは、世界からこの地に集う人々とともに
互いの持つ多様性を認め合う多文化共生社会の実現をめざすとともに、
…省略…
ここに新宿区の最高規範としてこの条例を制定します」

新宿区

新宿区の多文化共生の方向性

【総合計画（2018年）から抜粋】

国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、一人ひとりが**地域社会の一員**として活躍できる
「多文化共生のまち」

日本人と外国人がまちづくりに主体的に参加する取組を推進

交流拠点である
しんじゅく多文化共生プラザの機能の充実化

中野区

中野区多文化共生推進基本方針（2023年）

目指すべき将来像

国籍や文化、言語などにとらわれず**誰もが安心して暮らすこと**ができ、互いに **認め合い**ながら**地域の一員**として活躍できるまちの実現

中野区

取り組みの方向性（1）

1：言語によるコミュニケーションの円滑化に向けた環境の整備

・窓口対応の多言語化

・日本語学習支援の充実

・やさしい日本語の普及啓発

中野区

取り組みの方向性（2）

２：外国人が安心して暮らしていくための
　生活支援

・生活ルール等の周知の強化

・情報発信の強化

・日常生活への各種支援

中野区

取り組みの方向性（3）

3：地域の一員としての活躍の場の創出と相互理解の醸成

・互いの文化・習慣への理解促進

・地域における相談会や交流の場の創出

・外国人の地域への参画の推進

杉並区

多文化共生推進基本方針（2025）

目標：すべての区民が人権を尊重し、
互いの文化を認め合い、
安心して暮らせる地域づくり

4つの重点項目

1、互いに尊重しあえる意識の啓発・醸成

2、コミュニケーション支援

3、すべての人が活躍できる地域づくり

4、多文化共生拠点の整備

杉並区

1、互いに尊重しあえる意識の啓発・醸成

⑴人権と子供の権利擁護
方針の周知、正しい情報の発信

⑵「やさしい日本語」の普及・啓発
多文化共生を進める人材の育成

⑶国内外の文化を相互理解する取組
日本文化・外国文化に触れる講座
交流機会の創出

杉並区

2、コミュニケーション支援

⑴日本語教育機会の確保
日本語教室（子供、日本語ゼロベースの方向け）

⑵行政情報の多言語化
職員を対象にやさしい日本語研修、同時通訳機器の導入

⑶受け手の立場に立った情報発信
区のHPを活用した情報の集約

杉並区

3、すべての人が活躍できる地域づくり

(1)安全・安心な生活の確保
警察・消防などと連携した情報の発信、区内で活動する多様な団体との連携

(2)多文化共生を進める人材の育成

(3)地域人材の活躍の場の提供

(4)地域コミュニティへの参加促進

杉並区

4、多文化共生拠点の整備

(1)外国人相談窓口の拡充

(2)日本語教室の拡充

(3)相互交流の場の創出

外国人相談

外国人相談

新宿区

区役所（1991年～）

運営時間：午前9時30分から12時、午後1時から5時

対応言語：英語、中国語、韓国語

しんじゅく多文化共生プラザ（2005年～）

運営時間：午前10時から12時、午後1時から5時

月：韓国語、火：中国語、タイ語、ネパール語、水：英語、

木：ミャンマー語、中国語、金：韓国語

外国人相談（1）

中野区

①件数　774件 (2024/5/7-2025/3/31)

〈相談内容〉
1位：社会保険・年金
2位：福祉
3位：日本語学校

〈国籍別相談件数〉
1位：中国
2位：日本
3位：ネパール

＜使用言語別相談件数＞
1位：日本語、2位：英語、3位：中国語

中野区

外国人相談（2）

②相談員による対応言語 :英語、中国語、日本語。
タブレットを使用した三者間通訳による面談相談
（13言語）
タブレットの機械翻訳を使用（30言語）

③対応時間
平日 10時00分～12時00分、13時00分～17時00分

④相談員の体制
・英語、中国語、日本語担当員（窓口・電話相談）

杉並区

外国人相談（1）

(1)相談件数
482件（2024年度）

(2)相談方法
相談窓口（&タブレットによる通訳）
電話対応

(3)相談員対応言語
日本語、英語、中国語、ネパール語、韓国語、ベトナム語、フランス語

杉並区

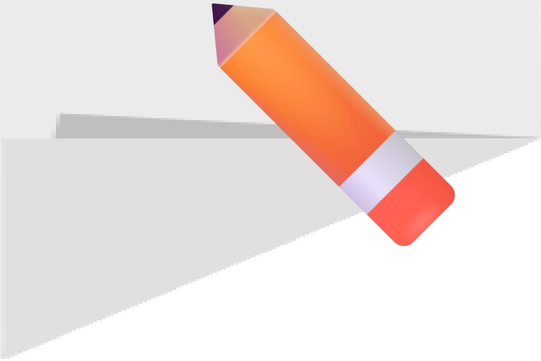
外国人相談（2）

⑷相談日時

英語：月曜午後、火曜午前、木曜午後及び金曜午前。
中国語：月曜午前、火曜午後、木曜午前、毎月第1週・第3週・第5週金曜午後。
ネパール語：水曜日午後

韓国語、ベトナム語、フランス語：月曜から金曜までの午前・午後のうち、事前の予約により定めた日時

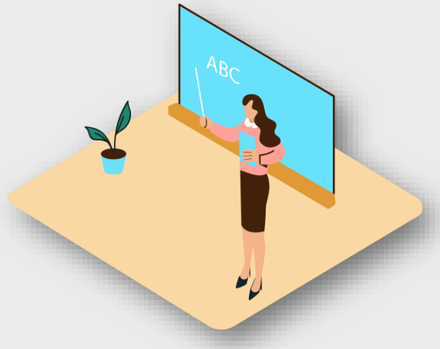
日本語教育



新宿区

日本語教育（1）

日本語学習への支援
（9か所14教室運営中）



1993年から運営開始
子供向けの日本語教室
最初級者向けの教室

自習コーナー運営
(しんじゅく多文化共生プラザ)

新宿区

日本語教育（2）

日本語のクラスがレベル別だけでなく、
科目別にも分かれている

例：「しんじゅく多文化共生プラザの日本語ひろば」

月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
かんじ	にほんご・すべて	会話・初級文法	会話

中野区

日本語教育（1）

①日本語講座（1989年～）

・対象：中野区在住・在勤・在学の日本語支援を必要としている方

・同じレベルの人が小グループに分かれて学習

・時間：火曜午前、午後、木曜夜

・中野区国際交流協会（ANIC）が実施

日本語教育（2）

中野区

②子ども日本語クラス（2002年～）

・時間：火・木（週2回）16:15～17：50
※中学生及び保護者と来館する小学生は木曜夜クラス（18:30～20：30）にも参加できる

③中学生日本語集中教室

・時間：9:00～11:50 ：水曜日・金曜日（週2回）

・ANICが実施

日本語教育（3）

中野区

④さぎのみや日本語教室（2022年～）
・対象：鷺宮・上鷺宮・若宮・白鷺に住んでいる方
・時間：毎週月曜　14：30～16：00（大人）
　　毎週月曜 16：30～18：00（子供）

⑤やよい日本語教室
・対象：弥生町・南台・本町・中央に住んでいる方
・時間：毎週水曜 14：00～15：30 (大人)
　　毎週水曜 16：00～17：30 (子供)

・ANICが実施

中野区

日本語教育（4）

⑥オンライン日本語教室（2025年度から試行）

・対象：中野区在住・在勤・在学の初めて日本語を学ぶ方

・時間：2025年7月23日から9月27日（第1期）
毎週水曜日　18:30～20:00
毎週土曜日　10:00～11:30

杉並区

日本語教育

①子ども日本語教室（2023年～）
小学生教室：月水（交流協会）
中学生教室：火木（教育委員会）

②大人のゼロ初級日本語教室
今年11月に開始予定。

その他の取り組み

新宿区

その他の取り組み（1）

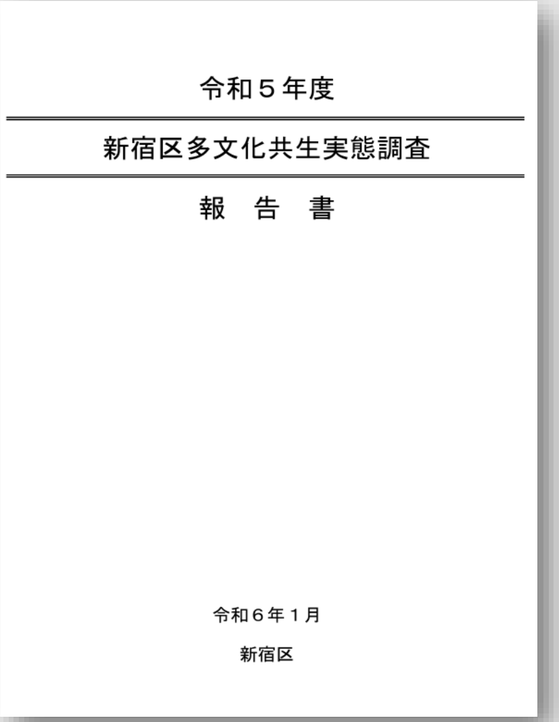
多文化共生の拠点としての
「しんじゅく多文化共生プラザ」（2005年開設）

日本語学習支援、日本語教室や自習スペースの運営
外国人相談コーナー（在留資格関連相談あり）

「多文化共生まちづくり会議」
の運営（2012年～）
区長の諮問機関
委員32名以内（任期2年）

その他の取り組み（2）

新宿区


令和５年度

新宿区多文化共生実態調査

報　告　書

令和６年１月

新宿区

多文化共生実態調査を
2007年以来、定期的に実施

平成19年度新宿区多文化共生実態調査

平成27年度新宿区多文化共生実態調査

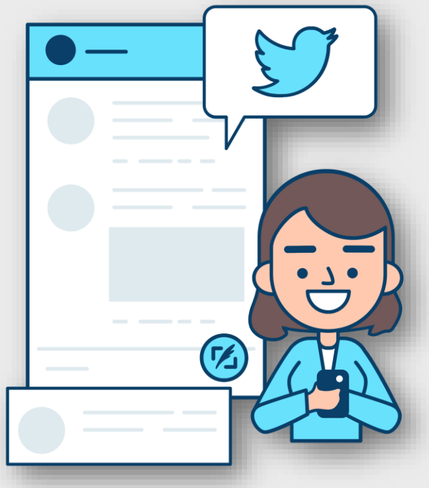
令和5年度新宿区多文化共生実態調査

外国にルーツを持つ子どもの実態調査

新宿区

その他の取り組み（3）

「外国人への情報提供ガイドライン」（2010）の作成



外国人への情報提供
(情報誌、SNS、ガイドブック)

外国人向け生活情報ホームページ
新宿生活スタートブック

中野区

その他の取り組み（1）

〇人権及び多様性を尊重するまちづくり条例（2022）

〇中野区ホームページのチャットbot（9言語）
日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、ベトナム語、タガログ語、ミャンマー語、ネパール語

〇外国人ナカニワ相談会（中野区役所1階）
・第2火曜の10時～12時・13時～16時
・無料
・専門家に在留資格、帰化などを相談できる日もある。
・使用言語：日本語、英語、中国語
他の言語(30言語)はタブレット翻訳

中野区

その他の取り組み（2）

〇職員向けやさしい日本語講座：
- ・ANIC担当（2021年度～）
  2021年度以降に採用された職員は全員受講
- ・山脇ゼミ担当（2021年～）
  毎年7月（話し言葉）と10月（書き言葉）に実施

〇区民向けやさしい日本語講座：
中野区国際交流協会（ANIC）主催（2020年～）

〇山脇ゼミとの連携・協働
- ・なかの多文化共生フォーラム（2013年～）
- ・区長と留学生の懇談会（2014年～）
- ・なかの生涯学習大学（2016年～）

その他の取り組み（1）

杉並区

実態調査に基づいた基本方針策定

1杉並区多文化共生推進懇談会

2多文化共生実態調査実施
（日本国籍・外国国籍ともに2000人ずつ）

3すぎなみボイスでの多文化共生に関する意見の聴取

4聴っくオフ・ミーティング

杉並区

その他の取り組み（2）

職員向けのやさしい日本語研修
（2019年度開始、コロナで中断、
2024年度再開）

区民向けやさしい日本語講座
（2015年度～）
杉並区交流協会主催

一般財団法人　杉並区交流協会

対面開催　やさしい日本語

外国人に伝わりやすい日本語のコツを学んでみませんか？
この講座では「やさしい日本語」の意義と具体的な方法を学び、外国の方と実践しつつ交流を楽しみます。
「やさしい日本語」を学びながら、お互いを理解すること、ともに地域で暮らすこと、よりよい社会とは何かについて考える機会になればと思います。

※写真は、過去の会場での開催の様子です。

【日程】① 2024年 9月　4日（水）
② 9月 11日（水）　13:30～17:00　（受付開始13:00）

※両日、同じ講座内容のため、いずれか１日のご受講になります。

【会　場】杉並区役所分庁舎4階（杉並区成田東4-36-13）
【講　師】日本語教師　深田 みのり氏
【内　容】講義「やさしい日本語とは」と活動「外国の方と実践練習」
【定　員】30名　※杉並区在住、在勤、在学の方。申込みが多数の場合抽選。
【参加費】無料
【申込み】メールの件名に講座名、①氏名（ふりがな）②電話番号
③参加希望日（９月４日または、９月１１日）を記入して下さい。
【申込締切】８月１２日（月）
【申込み／問合せ】　一般財団法人　杉並区交流協会
E-mail: info@suginami-kouryu.org
Tel: 03-5378-8833（平日：8:30～17:15）

主催　一般財団法人　杉並区交流協会　　共催　杉並区

まとめ

- 外国人人口：三区とも外国人住民の割合がコロナ禍以降大きく増加。（新宿区12.6%、中野区7.2%、杉並区3.8%）。中国、ネパール、韓国、ベトナム出身者が多い。全国や東京都と比べると、ネパール人が多い。
- 基本方針：中野区は2023年に、杉並区は2025年に策定。（新宿区はなし）杉並区は策定のために懇談会を立ち上げ、実態調査も実施。
- 外国人相談：相談員の対応言語数は新宿区が一番多い。
- 日本語教育：新宿区と中野区は長年取り組んでいる。新宿区は「漢字」「会話と初級文法」「会話」といったテーマ別教室あり。
- やさしい日本語： 中野区は職員向け研修を2021年度から、杉並区は2019年度実施、2024年度再開。新宿区は研修を行っていない。

中野区への提言

- 多文化共生に関する外国人・日本人住民調査の実施
- 外国人区民も参加する多文化共生区民会議の設置
- 区役所での住民参加型の日本語教室の実施
- 相談方法の多様化（メールやオンライン相談の実施）
- 中野の多文化共生をテーマにしたショート動画の募集と発信
- 中野のまち歩き交流イベントの開催（山脇ゼミ企画）